

# Cisco CCE 12.X のデフォルト ドメイン名およびマルチ PG スーパーバイザを設定して下さい

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[ステップ 1.一定グローバルなドメイン](#)

[ステップ 2.スーパーバイザを作成して下さい](#)

[ステップ 3.別の周辺装置の同じ人のためのスーパーバイザを作成して下さい。](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

この資料は Cisco Unified Contact Center Enterprise (CCE) のデフォルト ドメイン名を設定するのに必要とされるステップを記述したものです。さらに多重 Cisco Unified 通信マネージャ (非single サインオン (SSO) ソリューションの CCE 環境の CUCM) のためのスーパーバイザを Peripheral Gateway (PG) 作成し有効にする方法を、これは説明します文書化します。

著者 : Anuj Bhatia、Cisco TAC エンジニア。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco Unified Contact Center Enterprise (CCE)
- Microsoft Active Directory (AD)

### 使用するコンポーネント

資料で使用される情報は UCCE ソリューション 12.0(1) バージョンに基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。ネットワークがライブである場合、あらゆるステップの潜在的影響を理解するようにして下さい。

## 背景説明

非 SSO 環境の UCCE 12.X ソリューションはユーザー名を用いるログインにスーパーバイザを可能にします、UserPrincipalName (UPN) または samAccountName (SAM) アカウント形式に制約事項がありません。ソリューションはドメインを選択できる、CCE は必要に応じてユーザー名にグローバルなドメイン名を接続しますデフォルトドメイン名オプションの付加によってスーパーバイザがユーザー名とログオンするときこのセットアップを実現させ。

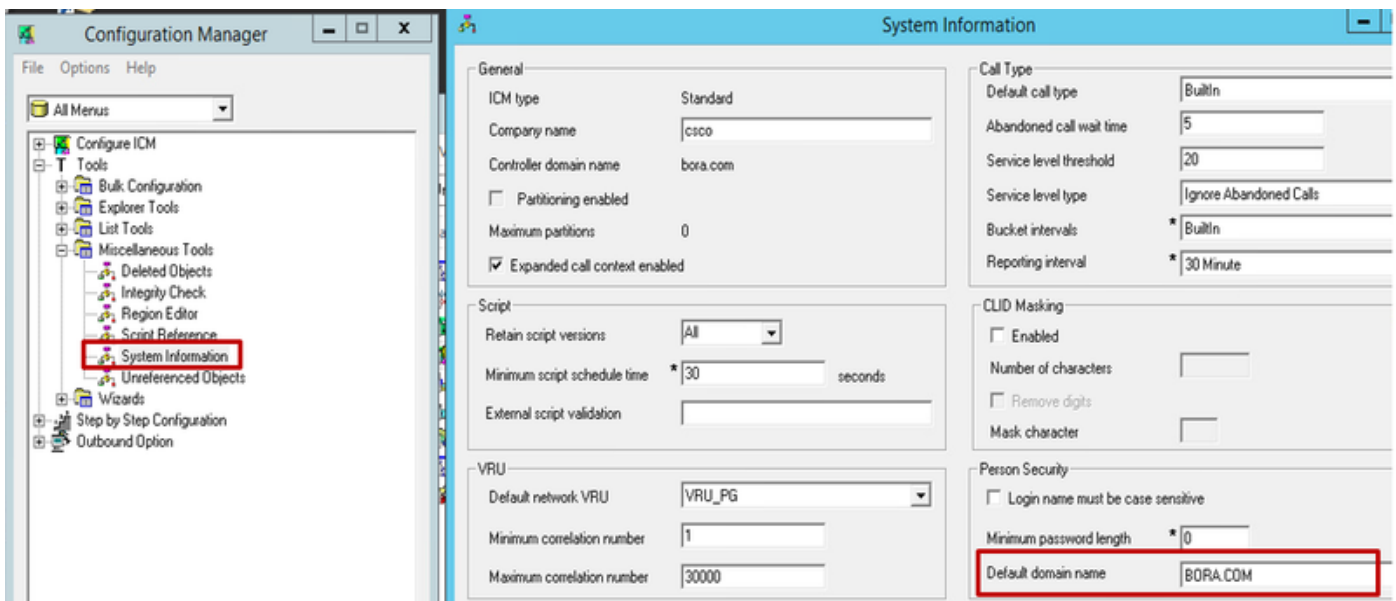
この機能拡張はスーパーバイザが複数の PG (traditionally それらは UPN によってフォーマットされていたユーザー名と署名するために必要となります) のために署名するシナリオのためにまた有用です。

同じを設定する必要なステップは設定セクションで強調表示されます

## 設定

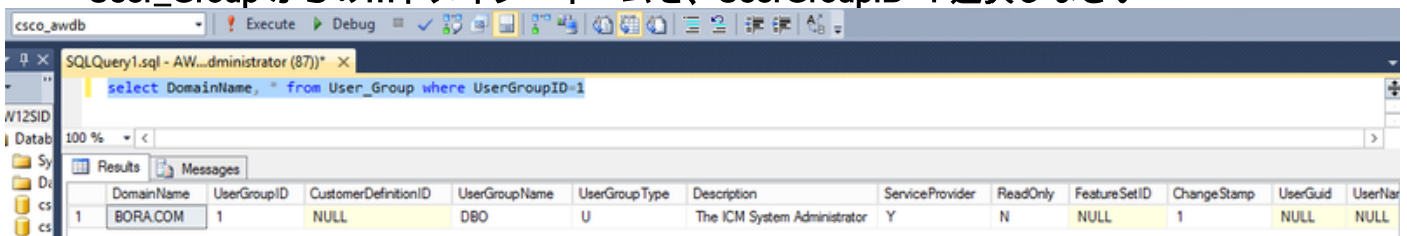
### ステップ 1.一定グローバルなドメイン

1. CCE の管理者 サーバ (AW) へのログインは権限ユーザーを設定しました。
2. コンフィギュレーションマネージャからシステム情報 ツールを > いろいろなツール セクション起動させて下さい。
3. ドメインをデフォルト Domain Name フィールドから選択し、保存して下さい。



4. 保存される場所で変更を確認するために示されたクエリを AW データベースに対して実行し、ドメイン名のための User\_Group 表を検査すれば。

• \* User\_Group からの...ドメイン・ネームを、UserGroupID=1 選択しなさい



## ステップ 2. スーパバイザを作成して下さい

1. コンフィギュレーションマネージャ ツールから Agent Explorer を起動させ、新しいエージェントを作成して下さい。
2. スーパバイザレベルにエージェントを促進して下さい。 スーパバイザ チェックボックスをチェックして下さい。 この時点で、ツールはアクティブ ディレクトリの agent\_one の存在を検証します。

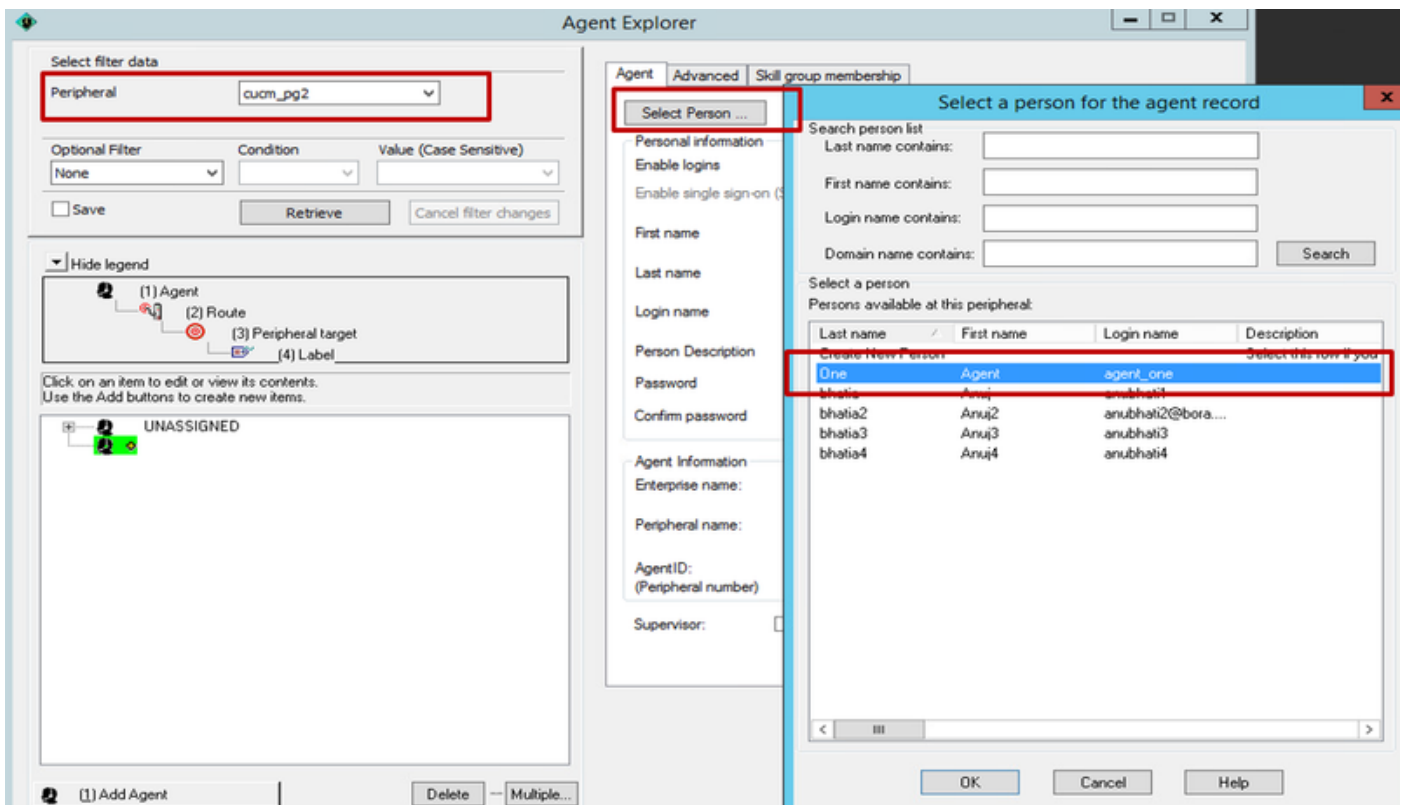
The screenshot shows the 'Agent Explorer' window with the 'Agent' tab selected. The 'Advanced' sub-tab is active, displaying the configuration for a new agent. The 'Personal information' section includes fields for 'First name' (Agent), 'Last name' (One), and 'Login name' (agent\_one). The 'Agent Information' section includes 'Enterprise name' (cucm\_pg\_1.One\_Agent) and 'AgentID' (798157404). The 'Supervisor' checkbox is checked and highlighted with a red box.

No エラーがあればユーザ名のユーザコンフィギュレーションは保存されます。

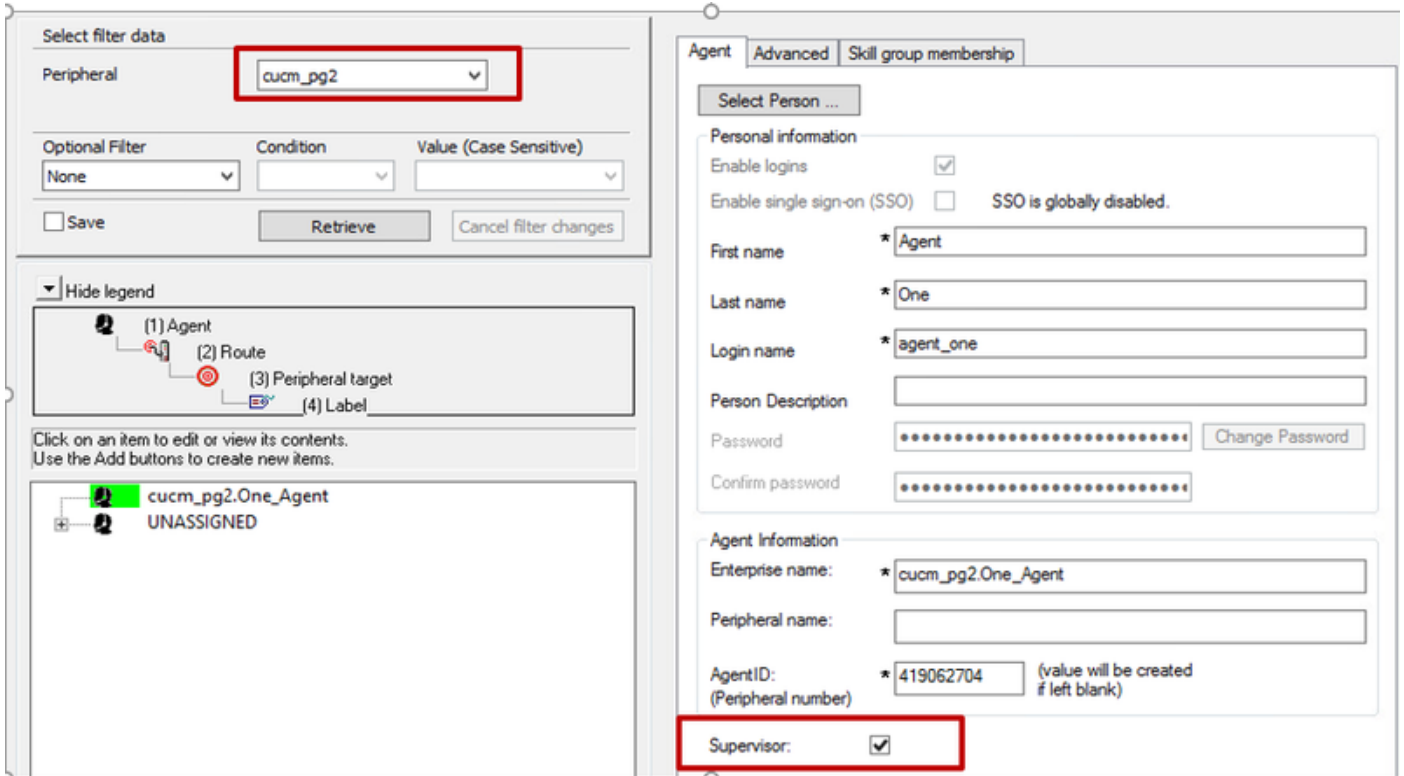
3. この段階では agent\_one はユーザ名の Finesse、CUIC および CCEAdmin ページにログインできるようになります。

## ステップ 3. 別の周辺装置の同じ人のためのスーパバイザを作成して下さい。

1. Agent Explorer をコンフィギュレーションマネージャ ツールによって開き、別の CUCM PG サーバに周辺装置プルダウンを、一例としてこの場合 cucm\_pg2 周辺装置使用されます変更して下さい。
2. エージェントを『Add』 を選択し、次に人を選択して下さい。
3. 同じエージェント agent\_one をリストから選択し、『OK』 を押して下さい。



4. スーパーバイザ チェックボックスを選択し、レコードを保存して下さい。



5. このとき同じ人レコードに接続される 2 人のスーパーバイザがあります。

6. この association を確認するためにエージェントおよび人 表をチェックして下さい。

Results	Messages						
SkillTargetID	PersonID	AgentDeskSettingsID	ScheduleID	PeripheralID	EnterpriseName	PeripheralNumber	ConfigParam
1	5001	5000	NULL	5000	cucm_pg_1.bhatia_Anuj	852072608	NULL
2	5003	5001	NULL	5000	cucm_pg_1.bhatia2_Anuj2	845682247	NULL
3	5004	5002	NULL	5000	cucm_pg_1.bhatia3_Anuj3	640117427	NULL
4	5005	5003	NULL	5000	cucm_pg_1.bhatia4_Anuj4	814648482	NULL
5	5007	5004	NULL	5000	cucm_pg_1.One_Agent	798157404	NULL
6	5008	5004	NULL	5004	cucm_pg2.One_Agent	419062704	NULL

SQLQuery3.sql - AW...dministrator (59) \* SQLQuery2.sql - AW...dministrator (58) SQLQuery1.sql - AW...dministrator (57)

```
select * from t_Person where PersonID=5004
```

Results	Messages						
PersonID	FirstName	LastName	LoginName	LoginNameShadow	Password	PasswordChangeRequired	PasswordLastChangedTime
1	5004	Agent	One	agent_one	AGENT_ONE	{enc:1}1B2M2Y8AsgTpgAmY7PhCfG==	0
							NULL

同じ資格情報を持つスーパーバイザはそこにそれぞれ周辺装置のサーバをうまく解決し、望ましいチームを監視ログインにできます。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報ははありません。